

ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 220



* 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問)「幻の東京五輪」について知りたい。

答)図書→ **タイトルから探す** ⇒ 「五輪 オリンピック」 **いずれかのことばを含む** にチェック ⇒
探す ⇒ **88 件ヒット** ※複数の言葉を調べたい時は、言葉をスペースで区切り、右側の**いずれかの**
ことばを含む にチェックを入れてください。



※さらに絞り込みたい時… 上記のタイトル検索結果一覧ページの左上 **絞り込み検索ボタン** ⇒
分類 で絞り込む ⇒ **780** スポーツ、体育で探す ⇒ **52 件ヒット**



『3つの東京オリンピックを大研究 1』(780/N71/1) ハングオール

『時代背景から考える日本の6つのオリンピック 1』(780/O55/1) 開架児童

『幻の東京五輪・万博1940』(780/F87) 開架一般

『幻の東京オリンピック』(780/H38) 閉架

『東京は燃えたか』(780/Sh77) 閉架

図書室には、書棚に並んでいる図書(開架図書)以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、いろいろな本を探してみましょう。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお尋ねください。

遥 拝 所

御朱印ブームもあり、最近は神社に出かける人が増えているといわれています。
出かけた先の神社で、このような碑を見かけたことはないでしょうか。



これは、新宿区西早稲田にある^{あな}穴八幡宮にある「神武天皇遥拝所」の碑です。日本では古来より、遠方に住む人びとが伊勢神宮を遥拝するための「(天照)皇大神宮遥拝所」が各地に設けられてきましたが、昭和15年(1940)には神武天皇即位紀元(皇紀)2600年を奉祝し、奈良県にある神武天皇陵と同天皇を祭神とする^{かしはら}橿原神宮を遥拝するための「神武天皇遥拝所」が全国の神社を中心に設けられました。

穴八幡宮からみて、神武天皇陵と橿原神宮は南西の方角に位置しています。この碑の正面に立つことで神武天皇陵と橿原神宮のある正しい方角に向かって遥拝を行えるようになっているのです。

戦時中には同様に、皇居(※明治21年(1888)の明治宮殿完成を機に「宮城」と改称)を遥拝するための「宮城遥拝所」なども設けられ、今も全国各地に碑が残っています。当時は「早起遥拝」(＝黎明起床し、一家揃って宮城を遥拝すること)が正しい国

民生活とされ、学校や職場の朝礼などでもさまざまな遥拝が行われましたが、正しい方角に向かって行うことが求められたため、宮城や各神宮の正確な方角を明示する方位盤や設備が必要とされました。

昭和16年2月発行の『婦人国防 第97号』(閉架 367.21/F64/97)では、「敬神崇祖 紙上巡拝」と題した一枠に橿原神宮の全景写真が掲載されています。写真を通して、読者に橿原神宮を「紙上遥拝」してもらおうという試みで、「心身清浄にして、国威の宣揚、皇軍将士皆さまの武運長久を祈念いたしませう。」と書き添えられています。

終戦後はGHQの教育指令によって、学校など教育の場では「伊勢ノ神宮、明治神宮等二対スル遥拝ハ之ヲ取止ムベキコト」と遥拝はすべて禁止されました。ただ、「宮城遥拝ハ差支ナシ」と、宮城の遥拝だけは許されたのです。当時の日本と日本人に対するGHQ側の慎重な対応を見ることができます。

参考文献：

『理想だらけの戦時下日本』(閉架 210.7/157)

『15年戦争史学習資料 上』(閉架 210.7/A16/1)

『あのとき私は小学生』(閉架 916/N37/1)

『大阪 奈良 戦争遺跡歴史ガイドマップ 2』(閉架 216.3/H51/2)

『品川区史 続資料編 3』(閉架 213.6/To46/3)

◎図書室からのお知らせ◎

3/6(水)～3/19(火)の間、新規資料受入と整理点検作業のため、4階図書室は休室とさせていただきます。

ぶらりらいぶらりい～図書室にはこんな本があります～ NO.220

2019年2月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1